

1974.12.24

東京蜘蛛談話会

近藤昭夫氏より、11月25日付の手紙でこの通信に対してご意見をいただきました。振替してご紹介しまた改善がきると23は、努力するようにします。皆様からのご意見をお待ちします。

『もっといいにとか字を大きくとかは全く心画と無用。明視の距離にて読むものなので、これ以上下ろす文字は不必要。連絡紙の名称は談話会通信が最適。ニックネームは別にいらない。ファイルに綴じ込むのが好きなので、紙面一杯に印刷されては、パンチの穴をあける所がありません。中央の折り目から左右20~25mmあけて印刷してほしいと思います。用語解説、今回は「分類学」関係の用語の定義のおなものでしたが、蜘蛛関係で具体的にどう適用されているか調べて発表していただけたら更に有意義だと思えます。右下(4頁)に談話会所在地など書かれてありますが、この連絡紙の発行責任者・編集責任者なども書いてほしいものです。今年も年末に例会を計画していることと思えますか、もし年末たらクモ卵を皆様に見ていただきたいものです。装置は準備します。机とコンセントがあればいいです。計画に組み入れていただければ幸いです。』

最後のクモ卵の検査は、12月22日の三会合同例会で、デモンストレーションをしていただきました。このようなご意見を協力大変うれしく思います。皆で作っている会です。今後共宜しくおねがいいたします。

No.1に掲載しました「クモの名前をつけられた屋雲」の執筆者の名前、聞きたい方が多いので、多いと23かどなたもご存じないと思います。横尾氏は、石浜大学物理学教室の助手で、私(すズ本)の向い側の研究室にいます。たまに、居てクモの話がで、前回の様な記事になりました。会以外の方でも、クモに関する記事でしたら、快くその事掲載に努めたいと思います。今後、投稿者が多くなりすて来てならば、会員の権利を優先させます。

会員の皆様からの投稿を首を長くしてまっています。

これに関連して、八木沼健大氏に依頼して、「クモ学の現状」について、解説・紹介していただくことになっています。来年早々に、皆様の手にとどくでしょう。(残念ながら八木沼氏は、本会の会費にはありませんが、執筆を快く引き受けてくれました)

同じ、No.1のNews欄に紹介したのは、石野田龍夫氏の学会での講演について、No.1では花粉をいくつかくわえておくことと書きましたか、花粉ばかりでなく、蜜もなめるとのことです。紹介内容に、ちよっと十分は臭かあったことをおわびします。こまらへん、花粉も蜜もというあたり、このクモの珍奇(?)な習性の解析の糸口があるかもしれません。

去る12月22日、日曜日、日暮已立大橋公民会会館で、クモクニ多足類学会同例会が開かれました。この会は今回で3回目を迎えます。いつも、ちよつあしつちからにはおるの？あか？学校の関係とか？しかたないかしれません。忙中閑ありという感があります。年越し行事の一つとも若て、このくらいでもいい方に思っています。

忙中、参会された優雅な方々は、(7回不同、1)内は、クモ研究会員以外)

萱嶋 泉、(茅根昭治)(佐藤香村)(茅根重夫)、~~近藤昭夫~~(石井清)(加藤宏保)(佐藤英文)(小澤電樹)(田中理恵)、権田聖雄、新海栄一、古井隆、高林理子、本本誠治、斎藤博、栗原輝代子(新海明)嶋田順一、高野伸二、高橋登(酒井昇)(青木厚一)、梅林カ(高野光男)(篠原圭三郎)小野辰嗣、(今木忠一)、関下俊英、各氏、29名でした。

茅根氏は、いつものことながら、この会のために、わざわざ九州から来てくださり、優雅とこそか、……大変にうれしく思っています。特に多足類のオケウチコはと思ひます。また、関下氏、高野氏も正に忙中、おまなつて来ていたに違ひありません。茅根重夫氏、石井清氏も遠路はるばる来てくださるに違ひありません。

予定よりちょっとおくれではじまり、藤原氏の多足類のサンプリング法、季節的な影響や、サンプリングの影響(ファイト)の調査、萱嶋氏のクモの食性について、高野氏の台湾、小笠原のクモのスライド、茅根氏のクヌギ林とスギ林の土壌性が二相の比較、青木氏のハルレー・ピアンネルの効率、高野光男氏(前述の高野氏は高野伸二氏)のオムカテの最終年肢の個体変異、佐藤香村氏の清澄山のサトウ虫類、佐藤英文氏の

カニエの採集・飼育時の注意、芝倉いの網系紹介、新海栄一氏のクモの網の種類紹介、新海明・栗原輝代子両氏のクモの成熟度の季節変化、石井氏のインカテを食った、クモの話し、本本の分類学について、発表が、目白押しのおもてなし、あつという向に終つてしまいました。発表の内容は、それぞれの方に、投稿原稿としてもらいたいと思ひます。

ニューサイエンス社から、本雑誌を4冊、一割引きで、販売していただき、茅根氏からも、御著を2割引きで、お借りいただきました。(出席された方は、残会でした。)

なお、1冊にも、かきつけたが近藤氏のデモは、光源装置、実体顕微鏡も持参されたのその？、しゃべりだけの会に、アウセントもつて下さいました。クモ卵の表面の観察法、照明の仕方など、~~実物~~実物を見るとの？すから、参考になったお、多かたに思ひます。

例会参加者におねがい。  
KISHIDAIA おまの、通信用の原稿、記事を送つて下さい。  
例会の感想も結構、  
(けしと大歓迎)

## 用語解説 -2-

[中山書店から刊行された谷津・内田  
動物相分類名辞典 pp1133-1158からの  
抜粋です。]

### Phylogeny

1) 系統学. Phylogenie (独)  
分類群の時間的変化の過程や  
要因を考察し、かつそれらを互に  
一般的法則を見いださんとする学問。

2) 系統. 分類群の時間的  
変化の過程。

### Typological taxonomy

類型分類学. Typologische  
Taxonomie (独)。(自然)分類群  
には、その群内のすべての構成員が  
共有する、一般化され、理想化され  
た型があるとし、かかる型を基とし  
て実在群を分類しようとする分類  
学。

### Zoography

動物記載学(内田). Zoogra-  
phie (独)。動物系統分類学の一  
分野で、分類学、分類、記載法、  
命名法などの研究分野を含む。  
(Uchida, 1955)

### Zoonomy

動物基学(内田). Zoonomie(独)  
動物相系統分類学の一分野で、系  
統学および種の問題などの研  
究分野を含む。(Uchida, 1955)

### Species problem

種の問題. Artaufgabe(独)  
と分類学の対象である。種の実  
態およびその分化に関する問題  
で、前者は、分類学、後者は、  
分類学の研究対象となる。

### Phenetics

### Phenetics

表現学. Phänetik (独)。同時  
代の生物群の類似のみによる分類  
学分野。cf. cladistics, chronistics

### Phenetic taxonomy

表現分類学. phänetische  
Taxonomie (独)。同時代の生物群  
のみを対象とした分類学。  
= phenetics

### Cladistics

分岐学. Kladistik (独)。系統  
の分岐の相対的地質時間的關係、  
すなわち分岐の相対的順序を考察  
する分類学分野 (Sokal & Camin,  
1955) cf. chronistics, phenetics.

### Chronistics

年代学. Chronistik (独)。  
化石の資料に基づき、系統の分岐  
の絶対的地質時間的關係を考  
察する分類学分野。(Sokal & Cam  
in, 1955) cf. cladistics, phenetics.

### Conventional taxonomy

慣習分類学。系統学的理由  
づけを基準とした従来の分類学。  
operational taxonomyに対する。  
(Sokal & Camin, 1965)

### Operational taxonomy

777間の類似の程度を客観  
的に決定し、系統学的理由づけを  
考えない分類学。(Sokal & Camin,  
1965)

### Phenetic classification

表現的分類. phänetische  
Klassifikation (独) 同時代の生物  
群の(形態的)類似に基づく分類  
で、系統を考慮に入れない。  
(Cain & Harrison, 1960)

○西川英明氏：東京大学学会の会  
計を担当されているの？ご存知の方も  
多いと思います。八木沼先生と同じ  
勤務なのは、うらやましい。ヤチアモの分  
類も目下の仕事毎とされています。

○大河内哲二氏：中学校につめ  
ていられるの？、その忙かたは同情に  
値います。フモ学の方はそのため、  
開店休業（ちやうど意味かちかうか）  
残念な感じがせん。発想のユニーク  
さも大変なもの。

○大野正男氏：文献魔。学会  
にとりては貴重な存在。おれ（おれ）  
（おれ）

○大村昌久氏：家族をほうり出し  
て、インド、中近東、ヨーロッパとモヒリに  
行つて来た者。医学を修められたの  
で、その方面のフモ学をうつき出しお  
めました。

○大辻桃源氏：会費の納入状況  
ほ他のたれよりも確か。また、例会の  
返信も必ず下さる者。今後は、原稿  
を棄ててもらふかしら。

○大熊千代子氏：女性フモ学者の  
草分け。なごとかくと、おそれるがもし  
れぬ。

○小野展嗣氏：Kiothiaの  
編集を担当している若手。とはい  
ものの、大学卒業をすると、もう若手に  
なすかも。

○小澤實樹氏：Kiothiaの  
表紙の図案作成者。氏の話をき  
ていると、なにしろ、たのしくなります。

○関下俊英氏：フマ合会をう  
つ合う者。氏の博學がわかり、あうた  
びにお尻をたたかれています。うらや  
ましい。でも、実際は、尻をたた  
かれないようなやさしい人（おれ）です。

(以下：次号)

(後記) 子にきた。勝手なことを書きた  
らへました。失礼にあつた方々には、  
おわび申し上げます。本来は、豆頭か  
ら文章をしほり出すので、はやく、書き  
うつすための仕事で、いたいのです。

辻藤氏の意見や、注文については、  
多くおも肯首なさるごことと思ひ、少し  
努力しました。パンチで穴をあけられ  
る？しうか。あまり、まわりの白地  
をきると、むたいなくも思ひますので、  
中央より、2cm程でがマンしてもら  
いたいと存じます。また用語解説  
については、現在、通信を作っている  
の、実力不足により、不可能？な  
ごとなか、ここにのせに用語について、再  
度の解説をしていただくならと思  
っています。その方面の原稿もま  
ります。また発行・編集（通信の）は  
現在、おん本があたつていますが、私か  
勝手なことを書いている間は、他の原  
稿もかかないものと思つて下さい。  
この勝手なことについての責任は全  
くおん本にあります。

談話会にたいする希望・意見・苦情  
は、下記の本部、専ら局、編集局へ  
もかきつけられ、お便りを下さい。

### 東京大学談話会

本部：191 日野市豊田1896

聖地東京 Tel. 0423-81-7128

編集局：221 川崎市中原区小杉町  
1-540 小野展嗣氏

Tel. 044-72-2225

専ら局：187 小平市学園東町25-31

おん本印刷局 Tel. 0423-42-0906

これをあてていただけるのは、新聞のあつ  
たと同じとごころと思ひます。Kiothia  
の発行の遅れは、原稿の少ないことか  
原因？な。おん本資金が少くま  
りはいめますので、ご協力下さい。